

みずほCustomer Desk Report 2016/07/26 号(As of 2016/07/25)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	106.51 AUD/USD
TKY 9:00AM	106.30	1.0970	116.58	0.9882	1.3125	0.7474
SYD-NY High	106.74	1.0998	116.97	0.9893	1.3165	0.7491
SYD-NY Low	105.74	1.0952	116.24	0.9850	1.3095	0.7455
NY 5:00 PM	105.81	1.0997	116.28	0.9859	1.3140	0.7469
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	14.82/15.285		△25RR	0.858	Yen Call Over	
NY DOW	18,493.06	▲ 77.79	債券市場	日本2年債	-0.3290	▲0.3bp
NASDAQ	5,097.63	▲ 2.53		日本10年債	-0.2400	▲2.0bp
S&P	2,168.48	▲ 6.55		米国2年債	0.7332	3.1bp
日経平均	16,620.29	▲ 6.96		米国5年債	1.1397	2.3bp
TOPIX	1,325.36	▲ 2.15		米国10年債	1.5731	0.7bp
シカゴ日経先物	16,615	▲45.00	為替市況	独10年債	-0.0410	▲1.1bp
ロンドンFT	6,710.13	▲20.35		英10年債	0.8100	1.2bp
DAX	10,198.24	50.78		豪10年債	1.9130	0.7bp
ハンセン指数	21,993.44	29.17		USD/CNH	6.6883	0.0057
上海総合	3,015.83	3.01		ドルインデックス	97.29	▲0.18
USDJPY 3M Vol	12.87	▲0.46%	商品市況	CRB指数	181.310	▲1.59
USDJPY 6M Vol	12.20	▲0.28%		NY金	1,327.200	▲4.30
EURJPY 3M Vol	13.74	▲0.78%		WTI	43.130	▲1.06
EURJPY 6M Vol	13.25	▲0.55%		Dubai Spot	41.37	▲0.89

東京	週末に中国で行なわれたG20では「通貨の競争的な切り下げを回避」「グローバルな金融市場の安定に向けて、各国が協調して政策を総動員する」ことなどが示されるも、従前の認識と大きな変更はなく、週明けの為替市場への影響は限定的。その後、東京時間オープン前に発表された本邦6月貿易収支は市場予想4,744億円の黒字に対し、実績は6,928億円の黒字と、黒字額が事前予想をやや上回ったものの、こちらもマーケットの反応は極めて鈍いものとなった。かかる中、東京時間のドル円は106.30レベルでオープン、仲値にかけて5・10日の買いも入り一時高値となる106.74まで上昇する場面が見られたものの、週後半にかけて重要イベントを控える中、さらなる上値追いの展開とはならず、106円近辺までじりじりと反落する展開。結局106.11レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は106円台前半で動意薄となった。朝方は106.11レベルでオープンし、終始106円台前半の狭いレンジ内で推移。106.21レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.09台前半から後半へ上昇する展開。朝方は1.0972レベルでオープン、独7月IFO企業景況感指数は市場コンセンサス107.5に対し108.3と強い結果となり、ユーロ圏のPMI速報値に次いで現状では英国のEU離脱はユーロ圏の企業センチメントに大きな影響をもたらしていないことが再確認された。これを好感し、また欧州株の堅調な動きも相俟り、ユーロドルは1.09台前半から後半へ上昇。1.0984レベルでNYへ渡った。(ロンドンタイムズ 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	週明けNYのドル円相場は106.21レベルでオープン、序盤、ダウが下落して始まる中、ドル円は売りが先行し一時106.05付近まで下落したものの、106円を割込む動きには至らなかった。しかし、その後もダウは利益確定売りが続き、原油の売りも止まらなかったことから、リスク回避の円買いが強まりドル円は106円をブレイクし105.83付近まで下落した。午後に入り、日系大手新聞社が焦点となっていた国と地方の財政支出は今年度2次補正予算や来年度予算案などの数年間の予算総額を6兆円程度に積み増す方向で調整と伝えたことが材料視され、ドル円も買いの反応を見せ106.15まで戻した。しかし、買いの勢いは続かず直ぐに105円台に押し戻されると、日中安値を更新し一時105.74まで下落した。終盤、今週は米FOMCと日銀金融政策決定会合が開催予定で日米金融政策の動向を見極めたいとの雰囲気もあり、ドル円は上値重い展開が続く中、全般的に方向性に欠ける動きとなり、105.81レベルで海外市場へ渡った。一方、ユーロドルは1.0984レベルでNYオープン、ユーロドルはNY市場に入ると戻り売りが優勢となり一時1.0968下落した。その後、ややドル売りが優勢となったことで、ユーロドルは1.0998まで戻すものの、1.10の上値抵抗は強固になっている模様で、回復することなく伸び悩んだ。終盤、ユーロドルは動意に欠ける展開となり、1.0997レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 高野・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月25日	8:50	日 貿易収支	6月 ¥692.8B	¥474.4B
	16:30	NZ ウィーラ RBNZ総裁講演	-	-
	17:00	独 IFO企業景況感/現況/期待指数	7月 108.3/114.7/102.2	107.5/114.0/101.6

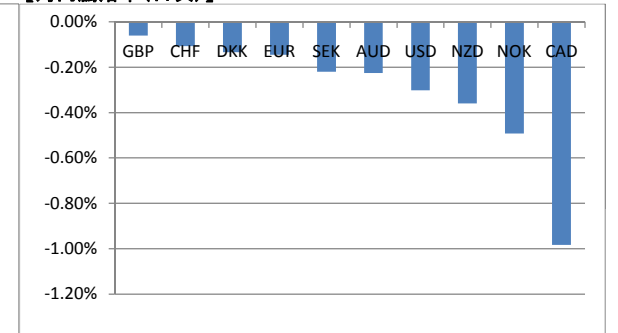
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月26日	7:45	NZ 貿易収支	6月 150M	358M
	22:45	米 マーケット総合/サービス業PMI・速報値	7月 -/52.0	51.2/51.4
	23:00	米 新築住宅販売件数	6月 560K	551K
	23:00	米 消費者信頼感指数	7月 96.0	98.0
	23:00	米 リッチモンド連銀製造業指数	7月 -5	-7
	-	米 FOMC(7/26-27)	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.20-106.20	1.0950-1.1050	115.70-116.90

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル円相場はやや上値の重い展開。アジア時間に一時106.74まで上昇したものの、106円台前半まで弱含み海外市場に渡ったドル円は、その後も軟調な米株式市場や原油相場の動きに連れ、105.83まで下落した。その後、本邦予算案に斯かる報道を受け、一時106円台まで反発する場面も見られたが上値は限定的で、105.74まで下値を切り下げ、105.81付近でクローズした。本日のドル円はやや上値の重い展開を予想する。週内にFOMC、日銀金融政策決定会合といった重要イベントを控える中、積極的にポジションは取りづらい環境ではあるが、これまで堅調だった米株式市場が調整色を強める中、本邦株式市場及びドル円もやや上値の重さが意識されるだろう。